

授業科目(ナンバリング)	テーマパーク論(CB108) (実践的教育科目)			担当教員	森尾 真之 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
この授業では、近隣のハウステンボスが年間 300 万人を集客し、持続可能な観光振興のための地域の交流人口獲得装置として地域社会に貢献している現状への理解を念頭に、観光事業を今後のキャリアとして考える学生に対して、長期インターンシップなどへの積極的な取り組みにつなげる機会としたい。そのために事業者と従業員、地域住民と観光客など様々な視点での考察を、実地調査やディスカッションによりレポート作成や発表によって深めていくことが求められる。							②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	①遊園地・テーマパークの成り立ちや時代背景を理解し、事業内容や地域への貢献などによる展開を類型化し、説明できる。 ②IR について基本的な知識を持ち、関連の報道やニュースとの関連付けができる。				定期試験	50%	
情報収集、分析力	ハウステンボスが及ぼす地域観光への影響や現状の課題について理解を深め、自分の意見として指摘することができる。				課題レポート 受講者の発表	10% 10%	
コミュニケーション力	テーマパークの価値創造における顧客満足向上について、自身が貢献できる役割を表現し、実際に事業の現場に参加できる。				課題レポート	30%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験の成績を 50%とし、基本理念や展開の歴史についての択一的な設問に加え、現状の課題などの論述を求める内容で理解度の評価を行う。課題レポートについては、ハウステンボスの現状評価や IR の展開について自分の視点で述べられているかどうか 40%、発表 10%、として評価対象とする。課題レポートのフィードバックは、適宜授業で行う。							
授業の概要							
主にテーマパークの現場や IR 推進など現役の実務家である外部講師と旅行業界において団体旅行企画営業の実務経験のある担当教員との協働による実践的な授業で、日本のテーマパークの歴史や今後のテーマパークの市場、テーマパークの事業特性、当地における IR への展望も踏まえ、テーマパーク運営の基礎を学ぶ。外部から講師をお招きし、(ハウステンボス、IR 事業関係者を予定)現場での話題や課題をダイレクトに反映させながら進めて行く。また講師都合等で授業の予定が変更、もしくは学外で授業が実施される場合がある。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書/参考書：特に定めない。講義中にレジュメなどを配布し使用する。 指定図書：「ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと」鎌田洋著 ソフトバンククリエイティブ							
授業外における学修及び学生に期待すること							
身近にハウステンボスというテーマパークを持ち、いつでも入場し、その運営現場に触れる事が出来る長崎国際大生が、テーマパークの歴史と現状を学ぶ事で、ハウステンボスをより身近に感じ、交流人口獲得による地域貢献や事業としてのテーマパークの在り方を学び、地域貢献の将来を担うノウハウを身に付けてほしい。ハウステンボスでの長期インターンシップを希望する学生は、この授業を受講する事が望ましい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の概要説明。ハウステンボスについて。	予習/復習：テーマパークの語義の確認、授業後の再確認
2	テーマパーク発展の歴史 (1)	「遊園地」と「テーマパーク」の違いを学び、テーマパークの基本理念を確認する	予：両者の違いを考える 復：両者の違いの再確認
3	テーマパーク発展の歴史 (2)	遊園地の発生からテーマパークへ。TDL 開園からテーマパーク冬の時代への変遷を学ぶ。	予：TDL について 復：遊園地発生の歴史確認
4	テーマパーク発展の歴史 (3)	テーマパークの事業再生。USJ などの再生事例と再生ビジネスの実態について。	予：USJ について 復：観光事業の再定義
5	これからのテーマパーク (1)	様々な施設の「テーマパーク化」とテーマパークの事業特性について	予：身近なテーマパークについて 復：収益構造について
6	これからのテーマパーク (2)	グローバル時代の地域観光インフラとしての IR（統合型リゾート）について	予：IR に関する報道 復：現段階の IR の現状
7	サービスマネジメントの特性について	テーマパークに不可欠なCS（顧客満足）について考える。	予：CS の意味について 復：サービスとホスピタリティの違い
8	ハウステンボスの事業内容 (1)	ハウステンボスのCSについて (ゲストスピーカー・実務家<HTB/CS 部門>)	予：HTB のサービス 復：CS のポイント
9	ハウステンボスの事業内容 (2)	テーマパークのイベント企画におけるマーケティングや採算性について学ぶ (ゲストスピーカー・実務家<HTB/イベント部門>)	予：HP で実施イベントの内容を確認 復：市場調査について
10	ハウステンボスの事業内容 (3)	ハウステンボスにおける新規事業の取り組みについて (ゲストスピーカー・実務家<HTB/新規事業担当部門>)	予：ほかのパークとの比較 復：新規事業の可能性
11	ハウステンボスの事業内容 (4)	ホテル事業について (パーク内、変なホテル) (ゲストスピーカー・実務家<変なホテル>)	予：パーク内外のホテル 復：今後の展開について
12	ハウステンボスの現状再確認と今後の課題	HTB の現状の問題点を確認し、対応策や今後の課題等に関して理解を深める	予：HTB の課題を考える 復：課題と自身の研究項目を再確認する
13	ハウステンボスにおける実習	自身で設定したテーマに関して、HTB 園内での調査、研究行いレポートを作成する。	予：研究項目、研究科所の確認 復：要点の整理と記述
14	各自の研究結果のプレゼンテーション	学びと実地調査によりまとめたレポートを発表する	予：プレゼンテーション資料の準備 復：プレゼンテーションの反省点の再確認
15	IR（統合型リゾート施設）への展開と展望	IR の長崎誘致に関して、外部講師による地域への貢献についての講義を受ける。(ゲストスピーカー・実務家<県 IR 推進担当者>)	予：IR についてあらかじめ情報収集 復：IR と地域の貢献について
16	定期試験	筆記試験	授業を振り返り、試験の準備をする。